

2015/12/17 第 37 回 クリスマス例会 <会長挨拶>

ようこそ、この寒い中お越しいただきありがとうございます。周様、台湾からも何度もご出席下さりありがとうございます。御苑RCとしては初めてのクリスマスでございまして、卓話講師の先生方は毎年このパーティにはご招待する事になりました。本日は 5～6 名の先生方がお見えでございます。幾久しくおつきあいいただければと思う次第でございます。

ちょうど去年の今頃は歓喜の中、創立準備で多忙でございましたけれども、思えばあっという間に一年が経過致しました。ご一同の皆様感謝申し上げる次第でございます。

歌に例えますと、私が18年前にロータリーに入会した頃、ご健在でありました、東京原宿ロータリークラブ(所属:山本文晴・西脇久夫・アントニオ古賀さん等)をお創りになった、東京西RCの「藤山一郎」先生がよくお酒席をご一緒し、歌ってくださった歌があります。「古い上衣よ さようなら さみしい夢よ さようなら」まさに私たちのクラブの行く末と重なる希望の歌であり、「青い山脈 雪割り桜」…この詩は、日高会報委員長のデザインバナーに、反映されているのでございます。そして結びの詩は「空のはて 今日われらの 夢を呼ぶ」であり、私は涙が零れて参ります。

また併せて藤山先生は、「青い背広で心も軽く あの娘と町へ行こうじゃないか 紅い椿に ひとみも濡れる 若い僕らの 生命の春よ」等とも歌っておられます。「青い背広」がロータリーのバッジのような気がしますし、女性を大事にしたクラブ運営を象徴しています。いくつもの点で私共はそういう思いを引き継いで行かねばならぬのです。

話しは変わりますが、私共は矢野幹事に大変な苦勞をかけっぱなしでおりますので、一詩差し上げたいと思います。佐賀県出身、血液AB型の村田英雄さんが「お前いりゃこそ この俺も 耐えてしのんだ いばら道 目から血を出す口惜しさつらさ 他人は知るまい 人生峠」と、歌っておられます。又、村田英雄さんにはこういう歌もあります。「吹けば飛ぶよな 将棋の駒に」…まあ、これはロータリーのバッジかもしれませんが、「賭けた命を笑えば笑え」と、そして「愚痴も言わずに幹事の矢野さん、見せた笑顔がいじらしい」などと。確かにこの歌の通りであると思います。矢野幹事はいつも愚痴もこぼさずニコニコしておりますが、お世話は大変な思いでやってくれていると思います。最後に一詩差し上げます「若いうちだよ 鍛えておこう、今にお前の時代が来るぞ、御苑ロータリー この世の闇に 君は光を投げるのさ」これは「柔道一代」の歌詞でございます。

私は 19 時から始まるのであれば、いつも 16 時頃には来るのですが、今日はわざと、18 時頃まいりました。やはり「愚痴を言わない矢野幹事が見せた笑顔」がいじらしく現場準備に余念がありませんでした。二次会・三次会はそういう感謝の気持ちで今日は慰めてあげたいと思っております。

こうして半年間過ぎました。後ほど紹介があるかと思いますが、いよいよ正月から宮代年度の準備会。私はあと半年で幕引きの季節とロータリー的にはなっております。今年一年間の皆様のご協力に感謝するとともに、来年の宮代年度に協力を賜りますことをお願い申し上げまして、今日の挨拶と代えさせていただきます。どうもありがとうございました。